

# 「TOKAI いじめゼロバッジ」について！

平成 28 年 10 月 12 日 生徒会

## 生徒会本部役員から

今まで、いじめをなくすために「いじめ0宣言」の募集や、SNS に関してのいじめを防ぐ活動をしてきました。その活動の一環として、今回は「いじめゼロバッジ」を身に付けます。これは重要な意味があります。このバッジを身に付けることで「いじめ0」の意識を高め、みんなでいじめをなくせるよう協力しましょう！

**みんなでバッジをつけよう！よろしくお願いします。**

## 生活委員会から いじめゼロバッジの着用の仕方について

- ①このバッジは、7年生から9年生までの生徒が、土曜授業日に朝から帰りの会まで着用することにします。着用後は、回収して各クラスで管理していきます。
- ②バッジは、ブレザー、Yシャツ、ポロシャツの左胸ポケットに付けます。
- ③バッジは、生徒に貸し出す形になります。3年間使ったあと卒業前には回収し、次の新入生が使います。

☆東海中オリジナルのバッジです。大切に使って  
いじめゼロに向けての意識を高めましょう。



## このバッジのデザインについて



8年3組 杉村 瑞季

私がこのデザインを考えるときに思い浮かんだのは、まず、いじめられている人といじめから救おうとしている人の二つの立場の人のことです。

いじめること、それに関連する嫌な思いを人間関係の中で感じた経験が無いという人はいないはずですが、デザインの下半分で、そうした状況に

ある人、その気持ちの存在に意識を向けてもらうために黒い背景の人物の部分で表しました。

上半分は、いじめから救おうという人、その気持ちをほっぺの星型や前向きな姿勢で表しました。それぞれの人物には、反対の立場の方へ手が出ています。いじめられている側の人物の手は小さく描き、助けを求めてね、というメッセージを込め、助ける方の人物の手は意識して少し大きく描き、助けを差しのべることを強調しました。人物の肌の色を、どちらも明るい色にしたのは、どちらの立場も「希望、すなわち光が必ずあるはず」という願いを表したかったからです。

このバッジのイラストから、嫌な思いをしている人の悲しみを想像し、そうした思いをしている人を東海中学校の学校生活から出さないという決意、みんなで、手を差し伸べ温かい行動をしよう！というイメージをもってもらえたらと思います。